

結果④ シナリオについて

シナリオの内容はどうであったか？(実習生複数選択可)

	実習生
今まで授業したことのない場面が多く臨機応変に対応する力がついた	7
実際の授業で起こりえる身近なシチュエーションが多い	6
実際の授業ではあまり遭遇しないシチュエーションが多い	3
その他	2
無記入	1

シナリオの解説の評価はどうであったか？(実習生複数選択可)

	実習生
模範解答が役に立った	9
模範指導があった方がよかった	7
特に問題なし	6
一人一人に対する解説がよかった	5
質問時間があった方がよかった	2
その他	1
全体に対する解説がよかった	1

シナリオの解説の評価はどうであったか？(評価者複数選択可)

	評価者
フィードバックの内容を時間内にするのは難しい	2
模範指導があった方がよかった	1
資料があったほうがいい	1
一人一人に対する解説がよかった	1
質問時間があった方がよかった	1
個人にあった解説ができた	1
内容が新人には難しい	0
その他	0

考察① 運営について

I. 資料 <各自調べる時間に必要と感じた資料>

- ・添付文書
- ・患者向けのパンフレット
- ・OTCを調べるための文献
- ・病態についての本
- ・インタビューフォーム

II. 場所

- ・もう少しみんなから遮断された場所がよかった
- ・個室がよかった

III. 時間

ディスカッションの時間→有意義に使えていない、コミュニケーション不足
指導者・司会者を入れる必要性あり？

服薬指導の時間→実習者はより時間の延長を希望している

膨大な情報を与えるのではなくニーズに合わせた服薬指導を

考察② OSCEの評価シートをコミュニケーション実習の評価として使うことの妥当性は？

コミュニケーション能力を測り評価することは難しい

実技を客観的に評価するOSCEの評価方法を用いることである程度可能なのではないか？

しかし評価しにくい項目もあり改善が必要もある

項目	しやすかった	しにくかった	不必要
1 最初の挨拶をした	2	0	0
2 患者名を確認した	2	0	0
3 患者状況(年齢、立っていることがつらいなど)の確認と心遣い	0	1	1
4 服薬状況の把握	2	0	0
5 服薬指導の目的を伝えられたか(副作用、相互作用など)	2	0	0
6 確認すべきことを確認したか	1	1	0
7 伝えるべきことを伝えたか	1	1	0
8 患者の理解を確認しながら伝えたか	1	1	0
9 専門用語を使わずわかりやすく説明したか	2	0	0
10 患者が気になることについて尋ねたか	1	1	0
11 共感的に対応したか	1	1	0
12 話の終わらせ方	0	2	0
13 話し方(言葉遣い、明瞭さ、テンポ)	1	1	0
14 姿勢・態度(目線、姿勢、表情、うなずきなど)	1	1	0
15 プレゼンテーションの態度	0	1	1

<評価しにくかった項目>

- ・患者状況の確認と心遣い
- ・共感的に対応したか
- ・話の終わらせ方

評価者の感覚によるもの
点数設定が細かければ
評価しやすかったか

<評価マニュアルについてのその他の意見>

- ・順番を追っての評価項目のため記入しやすかった
- ・チェック項目が多すぎた

考察③ シナリオについて

実習者の意見・・・大部分が実際の服薬指導に起こり得る身近なシチュエーションであったと感じている。また実際の服薬指導で臨機応変に対応する力がついたと考えている。

しかし、一部の実習者で実際の服薬指導ではあまり遭遇しないシチュエーションであったと答えた意見もあった。

今回は薬の知識の学習範囲にあわせた薬剤をもちいて各回シナリオを作成

実習者・評価者ともに全体的な理解・評価はよい。

しかし配属店舗で実際にふれることの少ない処方内容であることもあったことから役立たないと答えた一部意見もあった。

回によっては難しいと感じるシナリオもあった。実習者全員がふれたことがある内容のシナリオにした方が薬の知識に偏らない、よりコミュニケーションを重視した実習ができたか？

今後の課題と改善点

- 学生の段階で医療人としてのコミュニケーション能力を高めておくことが望まれる。
- 薬学部6年制のモデル・コアカリキュラムを踏まえ、コミュニケーション能力の習得および実践ユニットを網羅したシナリオの改定が必要である。
- ディスカッションの時間をより有意義に使えるようにするためには、薬剤師がチーム医療の一員であることの意識を高めるための事前実習がより大切である。
- 模範解答を説明するだけでなく、模範指導(実演)を入れながらフィードバックすることの必要性が示された。そのため、十分な時間の確保が今後の課題といえる。